

219-1953

日本組織培養学会

平成元年3月15日

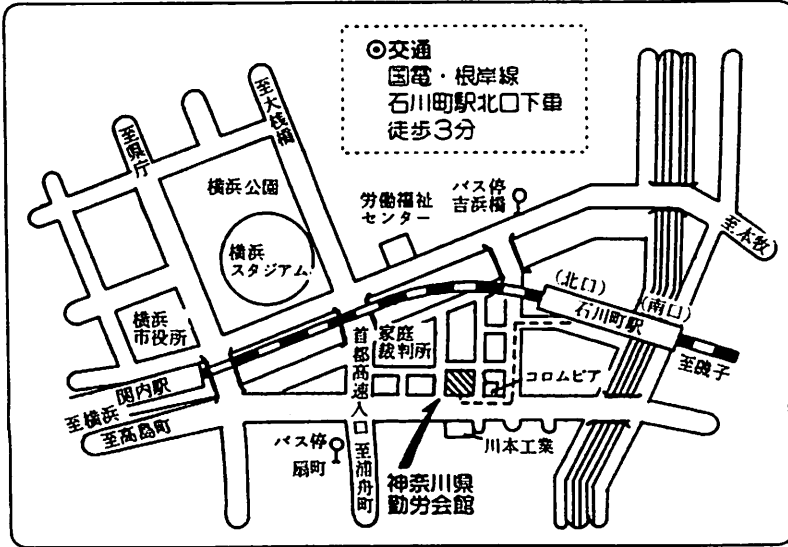
会員通信
第 68 号

発行責任者
 鈴木利光 (福島県立医大), 菊川忠裕
 (聖マリアンナ医大), 許 南治 (東
 大・医科研), 間中研一 (獨協医大),
 大島 浩 (大阪歯大)
 福島市光が丘1 (〒960 - 12)
 福島県立医大第2 病理
 電話 (0245) 48 - 2111 内線 2190

§ 第62回大会のお知らせ



- 日 時：平成元年（1989年）6月29日（木）
6月30日（金）
7月1日（土）午前
- 会 場：神奈川県勤労会館
横浜市中央区寿町1-4
TEL 045 - 681 - 1031
JR石川町駅前



- ・国電ご利用の方は石川町駅北口（横浜駅寄り）出口です。
- ・お車は駐車困難のため、なるべく他の交通機関をご利用ください。

○ プログラム概要

- ・特別講演(1) 「細胞培養と共に30年」

岡山大 佐藤二郎

- ・特別講演(2) 「Hormone and breast cancer in vitro」
NIH. Robert Dickson
- ・記念講演 「Vero 細胞と25年」
独協医大 安村 美博
- ・招請講演 「テクノロジーとしての培養 — 最近の動向と将来への期待」
国立予研 奥村 秀夫
- ・ワークショップ(1) functional culture (公募)
- ・ワークショップ(2) 培養技術最前線 (公募)
- ・一般演題

§ 第62回大会のワークショップ、一般演題の募集

○ ワークショップ

かつて本学会の目的は細胞を in vitro で安定した増殖系として維持することでした。そのために無血清培地を含め様々な栄養要求性や技術の工夫が討議されて来ました。現在もその重要性はいささかも減ってはいませんが、むしろ維持された細胞を“機能”させることによって、それぞれの目的に応じた研究がなされているのが主体ではないでしょうか。

また、組織培養学会の会員がそれぞれの分野で個々に工夫して樹立された培養の技術や、細胞株を他の専門分野の研究者に伝達する場も本学会の目的とするところではないでしょうか。

そこで、「functional culture」

「培養技術最前線」

の2大テーマを設け、広く会員から公募することに致しました。

会員諸氏におかれましては、主旨に賛同下さり、積極的に応募下さるようお願い致します。類似の内容が多くまとまった場合には、小シンポジウムとしてまとめたいと思っております。

○ 一般演題

本学会の主旨にのっとり、一般演題を重視し、十分な時間をかけて討議する大会とする予定です。なお、今回のワークショップのテーマは広汎な内容を含んでいますので、これに合致すれば、ワークショップの方に組み込ませて頂きます。

○ 演題申し込み

最終から2頁の申し込み用紙を用いてお申し込み下さい。折り返し抄録用紙をお送りしますので、タイプまたはワードプロセッサで作成の上ご返送下さい。なお、抄録用紙は昨年と同じ形式です。

○ 演題申し込み切 4月5日(必着)

○ 抄録切 4月25日(必着)

○ 申し込み先、問い合わせ先

第62回大会世話人 蔵本博行

〒228 神奈川県相模原市北里1-15-1

北里大学医学部組織培養センター内

日本組織培養学会第62回大会事務局

TEL 0427-78-9268 (組織培養センター)

- 8414 (産婦人科資料室)

§ 第62回大会宿泊の御案内

大会の時期は、ちょうど横浜市の市制100周年、開港130周年を記念する横浜博覧会の会期中でもあります。宿泊施設の混雑、割高が予測されますので、培養学会会員の皆様方に特別料金のホテルを用意しました。

1. 御申込ならびに御問合せ先

〒228 神奈川県相模原市北里1-15-1

北里大学医学部組織培養センター内

日本組織培養学会第62回大会事務局

担当 浜野美恵子

TEL 0427-78-9268

2. 御申込み方法

- 1) 最終頁の申込み書に必要事項を御記入の上、御申込み下さい。この段階での予約金等必要ありません。
- 2) 御申込されました時点で予約確認書と代金請求書を御送付致しますので銀行振込にて、御支払い下さい。

3) 横浜博覧会開催期間中であり、宿泊施設等の確保が困難である事が予想されます。できるだけお早目に御予約下さい。御要望に添えない場合もあり得ると思いますが御了承下さい。

3. 御申込み締切日

平成元年4月25日(水)

4. ホ テ ル

ホテルシャトレイン横浜 I (本館)

〒231 横浜市中区不老町1-2

TEL 045-681-4800 (代)

会場まで徒歩5分です。

客室タイプ	宿泊料金
SS (シングル1人使用)	7,590 円
TT (ツイン2人使用)	7,590 円
WS (ダブル1人使用)	A) 9,290 円 B) 8,720 円

上記宿泊料金は、1人1泊朝食付で税(消費税を含む)サービス料込みの学会特別料金です。

ホテルならびに会場付近に、朝食用の飲食店が少ない為、今回は朝食込のホテル利用での特別料金とさせて頂きました。

§ 教育研究システム小委員会報告

本年度第2回幹事会で承認された教育研究システム委員会では、「組織培養による毒性テスト(仮題)」と「細胞生物学(仮題)」の2冊の本を刊行することを決めた。そして、前者は黒田行昭(編集責任者)、佐藤温重、祖父尼俊雄、二階堂修の各氏、後者は梅田誠(編集責任者)、加治和彦、難波正義、丹羽章、花岡文雄の各氏を編集委員に決め、数回の編集会議を経て刊行企画を昨年暮に作成した。

以下に「毒性テスト(仮題)」での刊行趣旨の一部を引用する。

『これまで主として実験動物などを使用して行われてきた各種化学物質や物理的要因による急性・慢性の毒性や、変異原性、癌原性、催奇形性などの試験を、体外培養した細胞や

組織、器官を使った系で、もっと精密に、もっと定量的に、さらに経費や労力、時間を少なくして行うことができるようになりました。

日本組織培養学会では、このたび細胞毒性の考え方や試験法の特徴をはじめとして、このような体外培養の系を使った各種毒性の試験方法を、できるだけ平易に、また具体的に解説するための技術書を刊行することを企画いたしました。このような体外培養系を使った毒性試験法については、これまで変異原性や癌原性などすでに成書の一部にとりいれられたものもありますが、各種毒性試験法を総合的にまとめたものはありません。本書は、すでに常法となって定着したものはもちろんのこと、まだ開発途上のものや、将来有望と考えられる試験法も含めて、できるだけ広い範囲の毒性試験法を解説することをめざしております。本書が将来、各分野の学生、研究者、研究員などにその指針として広く利用されることを願っております。』

一方の「細胞生物学（仮題）」の刊行趣旨は以下のものである。

「近年の生命科学分野の発展は目覚ましいものがある。この発展を支えるべき大学において、生命科学研究の基本となる細胞の、そしてその基礎となりまた応用に発展する組織培養技術の、系統的教育担当部門はないのが現状である。

このような状況の下で、組織培養を中心に研究してきた日本組織培養学会のメンバー達の間には、この早い生命科学研究の進歩に対応して、細胞に関する知識を広め、培養技術をより広く使いやすいものにする責務があるとの認識が高まった。

今回の企画は、これから生命科学研究に携わろうとしている人達に、細胞に関する基本的知識をまとめて与えることを目的として立案された。大学において、細胞生物学的教育を行うことの重要性、必要性が認識されるような構成、執筆内容としたいと願っている。』

多くの会員に執筆依頼をしているが、刊行の趣旨にそって培養研究に携わる人達の良き指導書にするため、皆様のご協力をお願いし、委員会の経過報告とする。（梅田）

§ お 知 ら せ

財団法人島津科学技術振興財団より、三種の公募事業の案内が届いております。また、第2回IRI国際シンポジウム開催についてもお知らせ致します。

〒604 京都市中京区河原町通二条下ル
一ノ船入町378番地
財団法人 島津科学技術振興財団
理事長 岡本道雄

I. 平成1年度研究者表彰の候補者推薦について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

毎々格別のご援助を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では平成1年度も昨年度と同様に、研究者表彰（島津賞）を計画いたしましたので、該当者がございましたら下記要綱に従って、ご推薦くださるようお願い申し上げます。

貴会の一層のご発展をお祈り申し上げます。

敬 具

記

1. 表 彰 の 対 象

科学計測（主として物理、化学、医学、生物学、工学分野）に関する基礎的な研究において、近年著しい成果をあげた研究者。

2. 表 彰 の 内 容

上記研究者に対し、賞状、賞牌、副賞賞金100万円を贈呈する。

3. 表 彰 件 数

2件

4. 推 薦 の 方 法

当財団所定の推薦書による。貴会よりの推薦は1件1名とし、連名は除く。

申込締切 8月末

5. 選考審査の方法

当財団に設置する選考委員会が選考し、理事会が審議し決定する。

6. 交付の方法

平成2年1月（予定）に開く表彰式において表彰する。

7. 受賞者による講演

受賞者には上記受賞後、当該研究について講演をお願いする。

(様式6)		
(財)島津科学技術振興財団による平成 年度研究者表彰の推薦書		
平成 年 月 日		
財団法人 島津科学技術振興財団 理事長 岡 本 道 雄 殿		
推 薦 者 機 関 名		
所 在 地 (〒)		
代表者氏名 ㊟		
下記のとおり候補者を推薦します。		
候補者氏名 (ふりがな) 生年月日	所属機関、役職	所属機関所在地
自宅 ㊟ () -		㊟ () -
研究題目		
業績の大要および推薦理由		

上記業績に関連する主要文献リスト

(著者名、表題、掲載誌、巻、頁(年)明記のこと。また、業績の主体となる文献は、別刷を添付のこと。)

候補者の略歴

(過去に受賞された賞があれば、付記すること。)

II. 島津科学技術振興財団による、研究開発助成応募要綱

1. 助成の対象

科学計測(主として物理、化学、医学、生物学、工学分野)に関する基礎的な研究を助成の対象とする。

2. 助成の内容

上記研究に対し、助成金を交付する。

援助件数 : 約12件程度 一件につき 250 万円ないし 100 万円

援助金総額 : 1,550 万円

3. 応募の方法

当財団に用意された所定の研究開発助成申込用紙に必要事項を記入して、当財団に直接申し込む。

申込締切は8月末とする。

4. 選考審査の方法

当財団に設置する選考委員会が選考し、理事会が審議し決定する。

5. 交付の方法

平成2年1月（予定）に開く贈呈式において助成金を交付する。

6. 連絡先

財団法人 島津科学技術振興財団

〒604 京都市中京区河原町通二条下ルーノ船入町 378 番地

電話（075）256－5533

Ⅲ. 島津科学技術振興財団による、海外研修研究援助応募要綱

1. 援助の対象

海外の研究集会に研究発表のため出席する研究者および海外留学者を援助の対象とする。ただし、援助対象者は原則として40才以下とする。

2. 援助の内容

上記研究者、留学者に対し、所要費用の一部を援助する。

援助件数：24件程度

援助金総数：360万円（1件15万円程度）

3. 応募の方法

当財団に用意された所定の申込用紙（研究集会出席者用と留学者用と別々にある）に必要事項を記入して、当財団に直接申し込む。

申込締切：年4回 4月／末、7月／末、10月／末、1月／末

4. 選考審査の方法

当財団に設置する選考委員が審査し、理事長の承認を経て決定する。

5. 交付の方法

交付決定の都度、理事長もしくは理事長が指名する者から援助金を贈呈する。

6. 連 絡 先

財団法人 島津科学技術振興財団

〒604 京都市中京区河原町通二条下ル一ノ船入町 378 番地

電話 (075) 256 - 5533

SECOND IRI INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON BIOTECHNOLOGY



**BIO THERAPEUTIC MEDICINES:
FROM LABORATORY TO
THE PATIENT**
16-18 May 1989, Edinburgh, Scotland

— P R O G R A M M E —

Day 1: Tuesday 16 May

16.00-20.00h: Registration at the Sheraton Hotel

19.00h: Welcome and Reception

*Day 2: Wednesday 17 May
09.00-17.00h*

LABORATORY ASSESSMENT

Chairmen:

Dr N Stebbing and Dr N Wilkie, UK

Review of Progress in the Development of Recombinant DNA Products for Therapy

Dr B M Richards, British Bio-technology Ltd., UK

New Concept of Tumour Antigen - Towards Clinical Application

Prof M Taniguchi, University of Chiba, Japan

Current and Future Approaches for Setting Guidelines for Contaminant Testing and Characterisation of Cell Lines and Products

Dr C J Marcus-Sekura, Food and Drug Administration, USA

Characterisation of Cell Banks: A Manufacturer's Perspective

Dr K Lambert, Celtech Ltd., UK

Process and Product Controls in Genetically Engineered Products

Dr F T Gates, Genetics Institute, USA

Viruses and Safety Aspects of Biologicals

Prof F Horaud, Institut Pasteur, France

Evening

20.00h: Symposium Dinner

*Day 3: Thursday 18 May
09.00-17.00h*

**PRE-CLINICAL AND
CLINICAL EVALUATION**

Chairmen:

Dr C Schild and Dr K James, UK

Immunotoxicology - Role in Assessing Biotechnology Products
Dr T J Hayes, Hoffmann-La Roche Inc., USA

Current Approaches to Pre-clinical Safety Assessment of Biopharmaceuticals

Dr D H Patrick, Merck, Sharp and Dohme, USA

Human Monoclonal Antibodies - Production and Therapeutic Potentials

Prof C A K Borrebaeck, Lund University, Sweden

Clinical Development of Protein Therapeutics Produced by Recombinant DNA Technology

Dr D Vapnek, Amgen, USA

Validation of Processes used for the Purification of Biopharmaceuticals

Dr J Brown, Inveresk Research International Ltd., UK

Product Licence Applications Preparation

Dr C P Patrick, Inveresk Research International Ltd., UK

Product Licence Assessment within the EEC

Dr J Robertson, National Institute for Biological Standards and Control, UK

For further information contact the Symposium Secretariat:-
CEP Consultants Ltd.,

26-28 Albany Street, Edinburgh EH1 3QH, Scotland.

Telephone: 031-557 2478. Telefax: 031-557 5749

§ 編集後記

- 会員通信第68号を福島からお届け致します。所かわりましても不相変のどろなわ式で関係各位には大変御迷惑をおかけ致しました。次号からはゆとりをもって発行したいと考えております。
- 今回は第62回大会のお知らせと参加および演題申し込みを中心に致しました。あまりに殺風景な紙面で申し訳ありません。皆様方の活発な御投稿と会員通信の御活用をお願い致します。
- 大会地横浜は御案内のように横浜博覧会の開期中です。学会、博覧会とお好みにあわせて(?)、多数の会員の皆様方の御出席をお願い致します。
- 例年になかった暖冬、当地も例外ではありませんでした。このまますんなり春が来そうな気配です。ただ、季節の変わり目、体調をくずしませんよう御自愛下さい。

(T S)

§ 住所変更

氏名	現住所	所属機関・所在地
井上元	〒305 つくば市並木2-204-202 ☎0298-58-1571	農林水産省蚕糸・昆虫農業技術研究所遺伝育種部 〒305 つくば市大わし1-2 ☎02975-6-6091
亀井碩哉		日本たばこ産業(株)生命科学研究so 〒227 横浜市緑区梅ヶ丘6-2 ☎045-972-5901
佐藤七枝	〒177 練馬区上石神井4-10-24	
菅原努		京都イメリタスクラブ 〒606 京都市左京区田中門前町103-5 パストゥールビル5F ☎075-702-1141
関谷國男	〒950-21 新潟市五十嵐2の町8050-RB 402 ☎025-261-0080	新潟大学理学部生物学教室 〒950-21 新潟市五十嵐2の町8050 ☎025-262-6173
波多野基一		福井県衛生研究所 〒910 福井市原目町39-4
兵藤文則	〒701-03 岡山県都窪郡早島町大字早島3991-51 ☎0864-82-1012	川崎医科大学衛生学教室 〒701-01 倉敷市松島577 ☎0864-62-1111
堀口貞由	〒882 延岡市旭町6-2700	旭化成工業(株)生科学研究so 〒416 富士市鮫島2-1 ☎0545-63-7865
松山慎一	〒618 京都府乙訓郡大山崎町谷田77-41	済生会吹田病院 〒564 吹田市南高浜町6-39 ☎06-382-1521
宮崎耕治	〒840 佐賀市鬼丸町80-1-201	佐賀医科大学外科 〒840-01 佐賀市鍋島町大字鍋島三本杉
吉田豊	〒062 札幌市豊平区西岡2条11-20-8 ☎011-582-9334	釧路市立病院検査部病理 〒085 釧路市春湖台1-12
日本たばこ産業(株)安全性研究所		〒257 秦野市名古木23 ☎0463-81-1277
(株)ネスコバイオ		〒160 新宿区新宿1-2-8 国久ビル4F ☎03-225-3988

演題申込書（締め切り、4月5日）

㊞

一般演題 / Workshop（どちらかを消して下さい。）
演題名
演者名
所属・住所・TEL

必要なときはコピーを取って下さい。

参加申込書（早めにお申し込み下さい）

㊞

氏名	懇親会（参加/不参加と記入）
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	
所属・住所・TEL	

必要なときはコピーを取って下さい。

日本組織培養学会第62回大会宿泊申込書

連絡代表者	氏 名	勤務先（連絡先）名および住所	電 話 番 号
〔予約券 送付先〕			

No.	氏 名	性別	年齢	宿 泊 室 お よ び 室 タ イ プ		
				6 / 28 (水)	6 / 29 (木)	6 / 30 (金)
	(例) 北 里 太 郎	男	50	SS	WS(A)	×
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

- (1) 申込み締切 平成元年4月5日(水) 当日消印有効
- (2) ツイン(TT)を御希望の場合、同室御希望の方を併せて御連絡下さい。